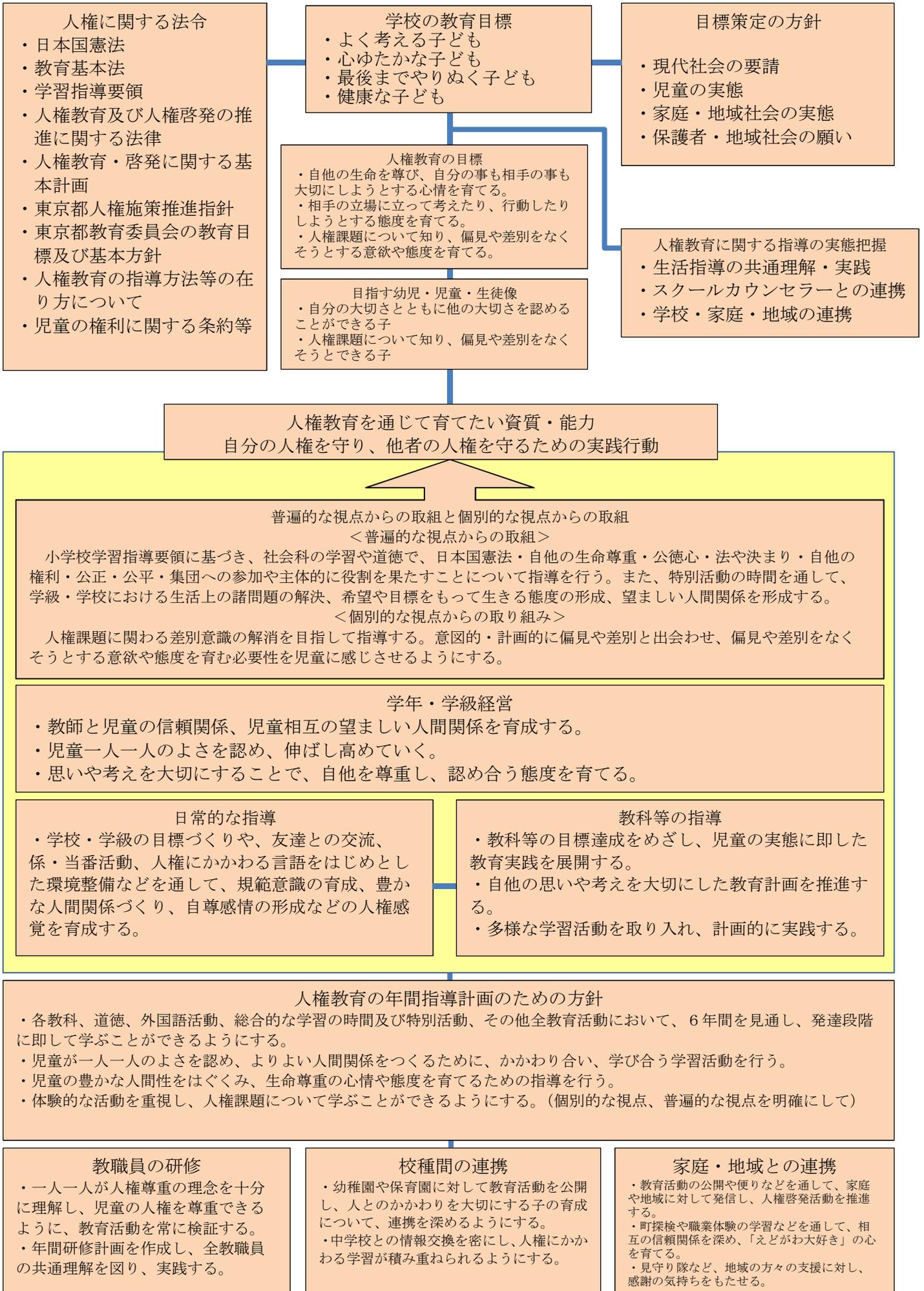


令和4年度 江戸川区立葛西小学校人権教育全体計画



人権に関する法令

- ・日本国憲法
- ・教育基本法
- ・学習指導要領
- ・人権教育及び人権啓発の推進に関する法律
- ・人権教育・啓発に関する基本計画
- ・東京都人権施策推進指針
- ・東京都教育委員会の教育目標及び基本方針
- ・人権教育の指導方法等の在り方について
- ・児童の権利に関する条約等

学校の教育目標

- ・よく考える子ども
- ・心ゆたかな子ども
- ・最後までやりぬく子ども
- ・健康な子ども

目標策定の方針

- ・現代社会の要請
- ・児童の実態
- ・家庭・地域社会の実態
- ・保護者・地域社会の願い

人権教育の目標

- ・自他の生命を尊び、自分の事も相手の事も大切にしようとする心情を育てる。
- ・相手の立場に立って考えたり、行動したりしようとする態度を育てる。
- ・人権課題について知り、偏見や差別をなくそうとする意欲や態度を育てる。

目指す幼児・児童・生徒像

- ・自分の大切さとともに他の大切さを認めることができる子
- ・人権課題について知り、偏見や差別をなくそうとできる子

人権教育に関する指導の実態把握

- ・生活指導の共通理解・実践
- ・スクールカウンセラーとの連携
- ・学校・家庭・地域の連携

人権教育を通じて育てたい資質・能力
自分の人権を守り、他者の人権を守るための実践行動

普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組

＜普遍的な視点からの取組＞

小学校学習指導要領に基づき、社会科の学習や道徳で、日本国憲法・自他の生命尊重・公德心・法や決まり・自他の権利・公正・公平・集団への参加や主体的に役割を果たすことについて指導を行う。また、特別活動の時間を通して、学級・学校における生活上の諸問題の解決、希望や目標をもって生きる態度の形成、望ましい人間関係を形成する。

＜個別的な視点からの取り組み＞

人権課題に関わる差別意識の解消を目指して指導する。意図的・計画的に偏見や差別と出会わせ、偏見や差別をなくそうとする意欲や態度を育む必要性を児童に感じさせるようにする。

学年・学級経営

- ・教師と児童の信頼関係、児童相互の望ましい人間関係を育成する。
- ・児童一人一人のよさを認め、伸ばし高めていく。
- ・思いや考えを大切にすることで、自他を尊重し、認め合う態度を育てる。

日常的な指導

- ・学校・学級の目標づくりや、友達との交流、係・当番活動、人権にかかわる言語をはじめとした環境整備などを通して、規範意識の育成、豊かな人間関係づくり、自尊感情の形成などの人権感覚を育成する。

教科等の指導

- ・教科等の目標達成をめざし、児童の実態に即した教育実践を展開する。
- ・自他の思いや考えを大切にした教育計画を推進する。
- ・多様な学習活動を取り入れ、計画的に実践する。

人権教育の年間指導計画のための方針

- ・各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動、その他全教育活動において、6年間を見通し、発達段階に即して学ぶことができるようにする。
- ・児童が一人一人のよさを認め、よりよい人間関係をつくるために、かかわり合い、学び合う学習活動を行う。
- ・児童の豊かな人間性をはぐくみ、生命尊重の心情や態度を育てるための指導を行う。
- ・体験的な活動を重視し、人権課題について学ぶことができるようにする。(個別的な視点、普遍的な視点を明確にして)

教職員の研修

- ・一人一人が人権尊重の理念を十分に理解し、児童の人権を尊重できるように、教育活動を常に検証する。
- ・年間研修計画を作成し、全教職員の共通理解を図り、実践する。

校種間の連携

- ・幼稚園や保育園に対して教育活動を公開し、人とのかかわりを大切にする子の育成について、連携を深めるようにする。
- ・中学校との情報交換を密にし、人権にかかわる学習が積み重ねられるようにする。

家庭・地域との連携

- ・教育活動の公開や便りなどを通して、家庭や地域に対して発信し、人権啓発活動を推進する。
- ・町探検や職業体験の学習などを通して、相互の信頼関係を深め、「えどがわ大好き」の心を育てる。
- ・見守り隊など、地域の方々の支援に対し、感謝の気持ちをもたせる。

令和4年度 人権教育にかかわる年間指導計画

江戸川区立 葛西小学校

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	学校・学級の目標を伝え、集団所属意識を高める。	友達との交流を通して、自他の大切さを認め合う機会を増やし、児童相互の望ましい人間関係を築く。		人権にかかわる言語、植物、絵などの環境を整え、教育環境の整備を図る。		学習や係・当番活動を通して、一人一人が個性や能力を発揮して活躍できる場や機会を設定する。学級の一員として認められているという存在感や安心感をもつことができるようにする。				卒業・進級を祝う会で、1年間の学校生活を振り返り、自分や友達の成長を認め合う。		
読各書教科	学級活動 とどちの名前をおぼえよう とどちのすきなことを知ろう。 図工、生活単元「ようこそ1年生」 1年生に手紙を送り、新しい友達を歓迎する。	国語「子どものマナー図鑑」 相手と心地よくかわることを学ぶ。			図工「運動会を振り返って」 頑張っている自分の姿を描き、互いに認め合う。	国語「宿泊学習を振り返って」 協力してできたことなどを話し合ったり作文にしたりする。	国語「運動会を振り返って」 協力してできたことなどを話し合ったり作文にしたりする。	生活単元「はくさい、しゅんぎく、レタス」 植物を育てることを通して、命の大切さを学ぶ。	生活単元「こまつな」 植物を育てることを通して、命の大切さを学ぶ。	生活単元「人にやさしいもの」 障害者用の施設を知り、障害者への理解を深め、誰にも優しい町の在り方を考える。 (障害者)	生活単元「おしえてもらおう むかしのあそび」 高齢者の方への尊敬の気持ちをもつ。 (高齢者)	国語「1年を振り返って」 協力してできたことなどを話し合ったり、作文にしたりする。
特別の教科 道徳	尊敬、感謝 お世話になった先生方や主事さんへの感謝の気持ちを深める。	公德心、規則の尊重 約束や決まりを守る態度を身に付ける。	自然愛、動植物愛護 自然に親しみ、動物や植物を優しい心で世話しようとする。	節度ある生活態度 自分の体に気を配り、健康で規則正しい生活をしようとする。	生命の尊重 生きていることを喜び、生命を大切にしようとする。	正直誠実、明朗 うそやごまかしをしないで明るい心で生活しようとする。	愛校心 学校やそれを支えてきた人々を敬愛しようとする。	郷土愛 自分の町のよさを知り、よりよくなかろうとする。	信頼、友情 友達同士互いに理解し合い、信頼して助け合おうとする。	生命の尊重 生きていることを喜び、生命を大切にしようとする。	愛校心 友だちといっしょに自分たちの学級を大切にしようとする。	
総合		総合単元「宿泊学習に向けて」 みんなと協力して学習を進める。									卒業に向けて お世話になった学校や6年生に感謝の気持ちをもつ。	
エコピ活動 世界の子どもについて知り、自分たちができることは何かを考えながら、ペットボトルのキャップを飲めたり、数えたりする活動を通して、社会に貢献しようとする。												
特別活動	学級活動 自分や学級の目標を設定し、望ましい人間関係を考える。 1年生を迎える会					運動会 協力して演技をする。		展覧会 友達のよさを認め合う。			ユニセフ募金 世界の子どもについて関心をもつ。 6年生を送る会	学級活動 自己の成長を確認し、進学に向けて、新たな目標を考える。
その他	あいさつ週間		ふれあい月間		あいさつ週間		通常学級との交流		ふれあい月間	ユニセフ募金	あいさつ週間	
心の花を咲かせよう・人権標語作り 心に残った言動を発表し人尊意識を高める。												

■ = 個別的な視点からの取組につながる普遍的な視点からの取組()内は人権課題

年間指導計画作成のための留意点

- 児童が一人一人の大切さやよさを認め、よりよい人間関係をつくるために、かわり合い、学び合う学習活動を行う。
- 児童の豊かな人間性をはぐくみ、生命尊重の心情や態度を育てるための指導を行う。
- 体験的な活動を重視し、人権課題について学ぶことができるようにする。(個別的な視点、普遍的な視点を明確にして)